

AO入試

理工学部

問い合わせ先
03-3259-0578(理工学部入試事務局)

募集学科及び募集人員

学 科	募集人員	学 科	募集人員
土木工学科	25名	航空宇宙工学科	2名
交通システム工学科	15名	電気工学科	8名
建築学科	6名	電子工学科	7名
海洋建築工学科	15名	応用情報工学科	8名
まちづくり工学科	8名	物質応用化学科	8名
機械工学科	3名	物理学科	7名
精密機械工学科	13名	数学科	7名

全学科

①アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

各学科のアドミッション・ポリシーについては、日本大学理工学部ホームページの「教育情報」(<https://www.cst.nihon-u.ac.jp/about/education/>)を参照してください。

②出願資格

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び2019年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(高等専門学校第3年次修了者等)及び2019年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2019年3月31日までにこれに該当する見込みの者(学校教育法施行規則第150条)

③出願要件

次の(1)～(3)をすべて満たす者

- (1) 志望学科での勉学に強い意欲を持ち、本学部の教育と研究環境を活用して目標を実現する強い意志を有する者
- (2) 次の①～④のいずれか1つ以上に該当する者
 - ① 学術・文化・芸術・スポーツ分野で積極的に活躍している
 - ② 地域社会や高校において積極的に活動している(ボランティア活動や生徒会活動なども含む)
 - ③ 志望分野に関する勉強・情報収集・研究活動などを継続している(数学や理科などの勉強、クラブ活動やサークル活動なども含む)
 - ④ 志望分野に関する高い能力・技術を有している(成果発表なども含む)
- (3) 本学部を第一志望とし、志望学科にエントリーしていること。また、以下の各学科の出願要件とともに満たす者
 - ・土木工学科：要件(1)及び(2)の①～④のいずれか1つ以上に該当し、公共空間デザイン・街づくり・減災・地球環境問題解決などに情熱を有する者(建設業の自営を目指す者及び日本大学全国高等学校土木設計競技に応募した者を含む)
 - ・交通システム工学科：要件(1)及び(2)の①～④のいずれか1つ以上に該当する者
 - ・建築学科：要件(1)及び(2)の①～④のいずれか1つ以上に該当し、高等学校時代に学術・文化・芸術・スポーツに関わるコンペ、コンクール、イベント(学校行事を除く)、日本大学主催の「日本全国高等学校・建築設計競技」などに参加実績(証明書が必要)がある者
 - ・海洋建築工学科：要件(1)及び(2)の①～④のいずれか1つ以上に該当する者
 - ・まちづくり工学科：要件(1)及び(2)の①～④のいずれか1つ以上に該当し、まちづくりを構成するそれぞれの分野である、まちの景観、観光事業、福祉や健康、都市防災、環境問題に高い関心を有する者
大学在学中もしくは卒業後に一定の実務経験を経て、社会的評価の高い資格(宅地建物取引士、技術士、不動産鑑定士、1・2級建築士、1・2級土木施工管理技士、福祉住環境コーディネーター2級など)の取得を目指す志のある者
なお将来、自らの出身地等における地域のまちづくりのために貢献しようという意欲の高い者であることが望ましい
 - ・機械工学科：要件(1)及び(2)の①～④のいずれか1つ以上に該当する者

- ・精密機械工学科：要件(1)及び(2)の①～④のいずれか1つ以上に該当し、数学及び理科に強い興味を持つ者
- ・航空宇宙工学科：要件(1)及び(2)の①～④のいずれか1つ以上に該当し、かつ次の(a), (b), (c)のいずれか1つ以上に該当する者
 - (a) 実用数学技能検定2級以上
 - (b) 実用英語技能検定準2級以上
 - (c) TOEIC® L&R(旧形式を含む)のスコアが400以上
- ・電気工学科：要件(1)及び(2)の①～④のいずれか1つ以上に該当する者
- ・電子工学科：要件(1)及び(2)の①～④のいずれか1つ以上に該当する者
- ・応用情報工学科：要件(1)及び(2)の①～④のいずれか1つ以上に該当する者
- ・物質応用化学科：要件(1)及び(2)の①～④のいずれか1つ以上に該当し、かつ化学基礎及び化学の評定がすべて4以上の者(ただし、2014年3月以前に高等学校等を卒業した者については、化学Ⅰ及び化学Ⅱの評定がすべて4以上の者)
- ・物理学科：要件(1)及び(2)の①～④のいずれか1つ以上に該当する者
 - ※ 出願要件(2)の③に該当する受験生は、これまでの活動実績のうち、その一つをAO入試の自己設定課題とすることができま。これを選択する場合、出願時に自己設定課題の題目及び概要(1,000字程度)を必ず提出してください。ただし、概要の内容によっては、物理学科で課題(学科設定課題)を指定する場合があります。
 - ※ 出願要件(2)の③に該当しない受験生は、物理学科で課題(学科設定課題)を指定します。
- ・数学科：要件(1)及び(2)の①～④のいずれか1つ以上に該当し、かつ数学に強い興味を有し、次の(a)または(b)のいずれかを履修している者
 - (a) 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B
 - (b) 理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ

④入試日程及び選考方法

〈エントリーから入学手続きまでの手順〉

エントリーから出願まで：全学科共通

- (1) エントリーとは、自分に適した志望学科を決めるために、興味のある学科の情報を収集するための登録制度で、複数学科への登録が可能です。
- (2) 希望者は、エントリー期間中にエントリーしてください。
- (3) エントリーしていない学科には、出願できません。

エントリー期間

7月1日(日)～8月27日(月)16時

エントリー方法

日本大学理工学部ホームページの「入試情報」(<https://www.cst.nihon-u.ac.jp/examination/>)から「入試試験web情報」へアクセスし、エントリーに必要な志望学科、志望理由などを入力し、登録してください。
なお、7月15日(日)開催の駿河台入試フォーラム及び8月4日(土)・5日(日)開催のオープンキャンパス(船橋校舎)でも、エントリーを受け付けます。
(この段階まで入学検定料は一切徴収しません)

出願期間

8月20日(月)～8月27日(月) [郵送に限る(出願期間最終日の消印があるものまで有効。締切日を過ぎた出願書類の受付は、一切いたしません。)]

※出願は1学科のみとなります。

※出願前にエントリーが必要です。

出願書類

- ① 出願確認票
- ② エントリーシート
- ③ 出身学校調査書等
- ④ 志望理由書(出願要件(1)を満たしていると判断し、それを主張する内容(2,000字以内))
- ⑤ 活動報告書(出願要件(2)(学科によっては(3)を含む)を満たしていると判断し、その成果が今後の勉学に与える好ましい影響について説明する内容(字数制限なし)。志願者が必要と判断する場合は、証明書や作品を添付するか試験当日に持参すること)

- ⑥建築学科への志願者は、原則として出願要件(3)を証明する書類の写し
- ⑦航空宇宙工学科への志願者は、出願要件(3)を証明する書類の写し
- ⑧物理学科への志願者で、自己設定課題を選択する場合は、自己設定課題の「題目及び概要」(1,000字程度)
- ⑨社会人は市販用紙による履歴書
※「出願後の記録」については試験当日に必ず持参すること

試験日

9月30日(日)

選考方法 学科により異なる〔下記「試験当日までの手順(出願後)及び選考方法」を参照〕**合格発表日**

10月3日(水)

入学手続期間

10月4日(木)～10月18日(木)

【試験当日までの手順(出願後)及び選考方法】**土木工学科**

- 出願後、9月上旬に「課題」を郵送します。この課題に対するレポートを作成して、指定した期限までに提出していただきます。このレポートも評価対象になります。

【注意】

- ・出願後の大学とのやり取りの全記録を記載した「出願後の記録」を試験当日に提出してください。
- ・希望者は、第1回目の連絡時に伝える内容(課題、学科行事への参加など)について、Fax、E-mail、郵便により質問したり指示や指導を受けることも可能です。ただし、必ず本人が連絡してください。

選考方法 ① レポートに関する質疑
② 口頭試問を含む面接

交通システム工学科

- 出願後、9月上旬に「課題」を郵送します。この課題について、レポートを作成して、指定した期限までに大学に返送していただきます。また、試験当日に課題レポートの成果を発表していただきます。

【注意】

- ・出願後の大学とのやり取りの全記録を記載した「出願後の記録」を試験当日に提出してください。
- ・希望者は、出題時に伝える内容(課題など)について、Fax、E-mail、郵便により質問することも可能です。ただし、必ず本人が連絡してください。

選考方法 ① 自己PR ② 課題成果の発表
※「自己PR」、「課題成果の発表」には、質疑応答が含まれます。

建築学科

- 出願後、9月上旬に「課題」を郵送します。この課題に対するレポートを作成して、試験当日持参していただきます。このレポートも評価対象になります。

【注意】

- ・出願後の大学とのやり取りの全記録を記載した「出願後の記録」を試験当日に提出してください。
- ・希望者は、第1回目の連絡時に伝える内容(課題、学科行事への参加など)について、Fax、E-mail、郵便により質問したり指示や指導を受けることも可能です。ただし、必ず本人が連絡してください。

選考方法 ① 小論文
② 実技(スケッチあるいは基礎造形)
③ 口頭試問を含む面接

海洋建築工学科

- 出願後、9月上旬に「課題」を郵送します。この課題についてレポートを作成して、指定した期限までに提出していただきます。さらに、課題の説明に用いる資料を作成し、試験当日に持参していただきます。このレポートと資料は評価対象になり、試験当日にこれらの内容についての試問があります。

【注意】

- ・出願後の大学とのやり取りの全記録を記載した「出願後の記録」を試験当日に提出してください。
- ・希望者は、第1回目の連絡時に伝える内容(課題、学科行事への参加など)について、Fax、E-mail、郵便により質問したり指示や指導を受けることも可能です。ただし、必ず本人が連絡してください。
- ・駿河台入試フォーラム(駿河台校舎)、またはオープンキャンパス(船橋校舎)にご参加ください。なお、行事への参加の有無によって選考評価はしません。

選考方法 ① 説明資料を用いた課題のプレゼンテーションと課題に関する口頭試問
② 口頭試問を含む面接

まちづくり工学科

- 出願後、9月上旬に「まちづくりに関する課題」を郵送します。この課題に対するレポート等を作成して、学科が指定する期限までに提出していただきます。このレポート等も評価対象になります。

【注意】

- ・出願後の大学とのやり取りの全記録を記載した「出願後の記録」を試験当日に提出してください。
- ・希望者は、第1回目の連絡時に伝える課題内容について、随時E-mailにより質問したり指示や指導を受けることも可能です。ただし、必ず本人が連絡してください。

選考方法 ① レポート内容に関するプレゼンテーションとそれに対する質疑応答
② 口頭試問を含む面接

機械工学科

- 受験生は、試験当日までに大学と2往復程度の接触を行います。必要書類の授受は郵便とします。

- ◆ 第1回目(9月上旬)：大学から課題の出題と中間レポートの提出期限を連絡します。その後、受験生は、中間レポートを提出期限までに郵送します。
- ◆ 第2回目(9月中旬)：大学から中間レポートに対する質問・指導内容を連絡します。また最終レポートの提出期限を連絡します。その後、受験生は、最終レポートを提出期限までに郵送します。

【注意】

- ・出願後の大学とのやり取りの全記録を記載した「出願後の記録」を試験当日に提出してください。
- ・希望者は、第1回目の連絡時に伝える内容(課題、学科行事への参加など)について、Fax、E-mail、郵便により質問したり指示や指導を受けることも可能です。ただし、必ず本人が連絡してください。
- ・第3回目の連絡を送ることもあります。
- ・行事への参加の有無によって選考評価はしません。課題への対応と内容を評価します。

選考方法 口頭試問を含む面接

※「口頭試問」には提出課題の内容及び機械工学を学ぶために必要な基礎学力(数学・理科(物理)・英語)の到達度に関する試問が含まれます。また、ものづくりに関する当日課題が課される場合もあります。

精密機械工学科

- 9月上旬に大学から調査研究課題、その報告書に対する指示、提出期限などを受験生に郵送します。受験生は、課題について調査研究し、考えをまとめた報告書を指定された提出期限までに大学へ返送することになります。

【注意】

- ・出願後の大学とのやり取りの全記録を記載した「出願後の記録」を試験当日に提出してください。
- ・希望者は、第1回目の連絡時に伝える内容(課題、学科行事への参加など)について、Fax、E-mail、郵便により質問したり指示や指導を受けることも可能です。ただし、必ず本人が連絡してください。
- ・行事への参加の有無によって選考評価はしません。

選考方法 ① 生活・活動など一般的な事項についての質問
② 課題に関する短時間での発表と関連した質問(説明資料持参可)
③ 数学・理科に関する基礎的な事項についての質問

航空宇宙工学科

- 9月上旬に、「課題」及び「提出期限」などを受験生に郵送でお知らせします。受験生は、この課題に関する報告書を作成して、指定された提出期限(9月下旬)までに大学に返送します。更に、課題のプレゼンテーションに用いるポスターを作成し、試験当日に持参していただきます。

【注意】

- ・出願後の大学とのやり取りの全記録を記載した「出願後の記録」を試験当日に提出してください。
- ・希望者は、第1回目の連絡時に伝える内容(課題、学科行事への参加など)について、Fax、E-mail、郵便により質問したり指示や指導を受けることも可能です。ただし、必ず本人が連絡してください。
- ・課題への取り組みと内容を評価します。

- 【選考方法】** ① 課題のプレゼンテーションと課題に関する口頭試問
② 基礎的な数学・理科(物理)に関する口頭試問

電気工学科

- 受験生は、9月15日(土)の学科説明会に出席していただきます。必要書類の授受は郵便とします。

(1) 大学が行うこと

- ① 学科紹介 ② 試験日までの課題の提示
③ 過去の課題に対する解説

(2) 受験生が行うこと

- ① 学科紹介を聞いたあとの感想文の提出 ② 課題に対する質問

【注意】

- ・出願後の大学とのやり取りの全記録を記載した「出願後の記録」を試験当日に提出してください。
- ・希望者は、第1回目の連絡時に伝える内容(課題、学科行事への参加など)について、Fax、E-mail、郵便により質問したり指示や指導を受けることも可能です。ただし、必ず本人が連絡してください。
- ・ぜひ、駿河台入試フォーラム(駿河台校舎)、またはオープンキャンパス(船橋校舎)にご参加ください。なお、行事への参加の有無によって選考評価はしません。
- ・課題への対応と内容を評価します。

- 【選考方法】** ① 当日課題(数学に関する基礎的な問題を出題)
② 口頭試問を含む面接

電子工学科

- 出願後、9月上旬に「課題」を郵送します。この課題に対する報告書を作成して、指定した期限までに提出していただきます。この報告書は評価対象となります。

【注意】

- ・出願後の大学とのやり取りの全記録を記載した「出願後の記録」を試験当日に提出してください。
- ・希望者は、第1回目の連絡時に伝える内容(課題、学科行事への参加など)について、Fax、E-mail、郵便により質問したり指示や指導を受けることも可能です。ただし、必ず本人が連絡してください。

- 【選考方法】** ① 課題に関する口頭試問
② 口頭試問を含む面接
※②の「口頭試問」では、数学・理科(物理)・英語についての基礎的な質問をします。

応用情報工学科

- 9月上旬に、受験生に「課題」を郵送します。受験生は、この課題に対する報告書を作成して、指定された期限(9月下旬)までに大学に返送します。この報告書も評価の対象とします。

【注意】

- ・出願後の大学とのやり取りの全記録を記載した「出願後の記録」を試験当日に提出してください。
- ・希望者は、第1回目の連絡時に伝える内容(課題、学科行事への参加など)について、Fax、E-mail、郵便により質問したり指示や指導を受けることも可能です。ただし、必ず本人が連絡してください。

- 【選考方法】** ① 課題に関する口頭試問
② 口頭試問を含む面接
※②の「口頭試問」では、数学・理科(物理)・英語に関する基礎的な質問をします。

物質応用化学科

- 受験生は、試験当日までに大学と2往復程度の接触を行います。必要書類の授受は郵便とします。

- ◆ 第1回目(9月上旬)：大学(①出願書類内容に対する質問、②課題の出題と中間報告期限指定)
→ 受験生(質問に対する回答、課題中間報告の提出)
- ◆ 第2回目(9月中旬頃)：大学(課題中間報告に対する質問・指導と報告期限指定)
→ 受験生(課題報告の提出)

【注意】

- ・出願後の大学とのやり取りの全記録を記載した「出願後の記録」を試験当日に提出してください。
- ・希望者は、第1回目の連絡時に伝える内容(課題、学科行事への参加など)について、Fax、E-mail、郵便により質問したり指示や指導を受けることも可能です。ただし、必ず本人が連絡してください。
- ・課題への対応と内容を評価します。

- 【選考方法】** ① 小論文
② 口頭試問を含む面接
※②の「口頭試問」では、化学に関する基礎的な質問をします。

物理学科

- 受験生は、試験当日までに大学と以下のやり取りを行います。必要書類の授受は郵送とします。

- ◆ 第1回目(9月上旬)：大学(課題の出題)
→ 受験生(報告書の提出)
- ◆ 第2回目(9月中旬)：大学(報告書に対する質問・指導)
→ 受験生
- ◆ 試験当日
受験生(報告書及び第2回目の質問・指導に対する回答を持参)
→ 大学

【注意】

- ・提出された報告書は、評価の対象になります。
- ・出願後の大学とのやり取りの全記録を記載した「出願後の記録」を試験当日に提出してください。
- ・希望者は、第1回目の連絡時に伝える内容(課題、学科行事への参加など)について、Fax、E-mail、郵便により質問したり指示や指導を受けることも可能です。ただし、必ず本人が連絡してください。

【選考方法】

報告書の内容(大学からの質問・指導等も含む)についての質疑応答と、数学*と理科(物理)の基礎的な試問を中心にした面接
※数学の範囲は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(確率分布と統計的な推測を除く)

【注意】

自分にあった課題(学科設定課題・自己設定課題のいずれか)で受験してください。

数学科

- 受験生は、大学から数学の課題を受け取り、それに答えて、指定の期限までに返却してもらいます。課題は、高校での履修の有無にかかわらず、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bから出題します。課題の発送は9月上旬となります。回答方法、期限などは課題発送時にお知らせします。

【注意】

- ・出願後の大学とのやり取りの全記録を記載した「出願後の記録」を試験当日に提出してください。
- ・希望者は、第1回目の連絡時に伝える内容(課題、学科行事への参加など)について、Fax、E-mail、郵便により質問したり指示や指導を受けることも可能です。ただし、必ず本人が連絡してください。
- ・大学紹介の行事に参加することもできます。ただし、参加・不参加は評価の対象とはなりません。

- 【選考方法】** ① 課題に関連した問題についての記述式試問(出題範囲には数学Ⅲも含む)
② 面接(上記①の記述式試問の解答に関する口頭試問を含む)